

平成29年度

平成29年 11月30日 12月号 (第504号)

学校だより



横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

おこやかスマイル すすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

12月

## 「凡事徹底」

副校長 井桁 寛

横浜ベイスターズがリーグ3位ながらクライマックスシリーズに勝ち上がり、日本シリーズでは、福岡ソフトバンクホークスと対戦したのは、つい最近の話ですが、横浜ベイスターズのラミレス監督は、昨年の秋のキャンプでは、「凡事徹底」を合言葉にトレーニングを進めてきたそうです。

「凡事徹底」とは、なんでもないような当たり前のことを徹底的に行うこと、または、当たり前のことを極めて他人の追随を許さないことなどを意味します。横浜ベイスターズでは、野球の投げる、捕る、打つ、走るという基本技術を徹底し、バントやヒットエンドランなど細かい戦術の精度を上げる練習に重点を置いたそうです。

学校では、基本的な生活習慣を指導していることは数多くあります。他者に迷惑をかけない行動、健康や安全にかかわる習慣、言葉遣いなど礼儀をわきまえた態度、学習に向かう姿勢、電車・バスに乗車する時などの公共のマナーなど、具体を挙げれば、学校で日常的に指導していることはかなりの事柄にのびります。

それらを要求される子どもたちはさぞかし大変かと思いきや、そうでない面もあります。習慣として身に付けてしまえばストレスに感じずに実行できます。

すすき野小学校では、児童スタンダードとして色々なことを決めています。例えば職員室に入室する時は、「トントン（扉をノックします）失礼します。〇年〇〇です。〇〇室のカギを取りにきました。」カギを渡すと「ありがとうございます。失礼しました。」といった感じです。

この問答の受け答えの例は、職員室の扉のところに貼ってありますが、この例を見ながら子ども達にも受け答えの仕方が身につけてきました。

しかし、習慣化するところまで持っていくのにはそれなりに大変なのも事実です。凡事を徹底することの難しさがそこにあります。子ども達に意義を伝え、繰り返し指導することが欠かせません。

すすき野小学校では、昨年度に児童スタンダードを作り、子ども達にそのスタンダードの意義を伝え、繰り返し指導することを行っています。現在は、それだけではなく、そのスタンダードが、今現在の子どものスタンダードにあっているかを職員で一つひとつ議論しながら、修正を加えています。

ご家庭にも配付していますので参考にさせていただいて、保護者の皆さんもお子さんのご指導に生かして頂ければ幸いです。また、保護者の皆さんが見られて「ここはこうした方がいいのでは」と言ったご意見があればいつでも学校にご連絡してください。

そしてご家庭と学校が同じスタンダードで共通して子どもの指導にあたり、当たり前のことを当たり前にストレスなく行えるようにしていけたらと思っています。

ご協力よろしくお願ひします。

